

会 議 録

- 1 会議名 平成 29 年度第 1 回上越市スポーツ推進審議会
- 2 議題（公開・非公開の別）
 - (1) 「上越市総合教育プラン」平成 28 年度事業報告及び成果指標（公開）
 - (2) 報告事項（公開）
 - ① 「上越市第 2 次総合教育プラン」前期実施計画
 - ② 平成 29 年度体育関係施策及び予算
 - ③ 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業
 - ④ スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の取組
 - ⑤ 上越市総合型地域スポーツクラブネットワーク（通称：上越 SC ネット）の発足
 - ⑥ （仮称）上越市体操アリーナの整備
- 3 開催日時 平成 29 年 7 月 4 日（火）午後 2 時から 4 時 20 分まで
- 4 開催場所 直江津学びの交流館 2 階 会議室
- 5 傍聴人の数 0 人
- 6 非公開の理由 なし
- 7 出席した者 氏名（敬称略）
 - ・委員：土田了輔、上野裕文、上村淳、齋藤隆雄、高橋達也、佐藤一徳、森田昭彦、春日清美、滝本篤透、倉石義行、高野幸夫
 - ・事務局：田中課長、白石副課長、山崎係長、石田係長、高橋主事、佐久間生涯スポーツ指導員、加藤係長（教育総務課）、石黒指導主事（学校教育課）
- 8 委員長、副委員長選出
任命書交付後、委員の互選により土田了輔委員が委員長に、倉石義行委員が副委員長に選出された。
- 9 あいさつ
【土田委員長】
委員長として一生懸命会の進行をしていきたい。よろしくお願いします。

【倉石副委員長】

前期は委員長をやらせてもらった。今期は副委員長を務めさせてもらうため、委員長を補佐しながら会を進めていきたい。よろしくお願いします。

10 スポーツ推進審議会及び第2次上越市総合教育プランについて、白石副課長が資料1、2に基づき説明。

意見、質問なし

11 議題

(1)「上越市総合教育プラン」平成28年度事業報告及び成果指標について、山崎係長が資料3に基づき説明。

【春日委員】

施策1の成果指標と達成状況のスポーツイベントの参加率のスポーツイベントとは、市が主催した事業だけだと思うが、レクリエーション協会等の活動を含めれば、参加率はもっと上がる。今後はどのように数値を算出するのか。

【山崎係長】

各団体の取組も把握する必要があると考えている。

【高野委員】

施策3のスポーツ環境の整備について、体育施設の安全性とあるが、吉川テニスコートはコンクリート製であり、使用している子供たちの怪我が絶えない。現地確認をされたことはあるか。

【田中課長】

現地を確認したことはない。体育施設について、各総合事務所から修繕の報告をもらい、全体のバランスを考慮し予算を組んで対応している。吉川区総合事務所に修繕の連絡をしてもらえれば、総合事務所から体育課が報告をもらい対応を検討したい。

【佐藤委員】

子どもの育成については、学校体育と社会体育の共存性がないと育成するのは難しいと思われる。

4月から文科省で、教育指導要領と部活動の外部指導者に関する規則が改定された。今の総合教育プランには学校体育との共存性や文科省の改定が記載されていないが、今後、総合教育プランに変更が発生してくるのか。

【白石副課長】

教育指導要領の改定の確認はしていないが、総合教育プランの基本政策の 7 について、課外活動や部活動の部分は、現在市のスポーツ活動サポート事業で小中学校の活動をサポートしている。体育授業中の活動に対する支援の議論は別の機会で行いたい。

【佐藤委員】

4 月の文科省の規則の改正は、市のスポーツ活動サポート事業と近いものになった。その規則に対応できるような取組があれば教えてほしい。

【石黒指導主事】

部活動の外部指導者の取扱いについては、現在、情報収集に努めている。県内では見附市が今年から「部活動外部顧問派遣事業」という、国が導入を決めた制度に先立つように取組を始めている。

【佐藤委員】

昨年は市のサポート事業を活用して、市内小学校の体育授業に指導者を派遣してマットや鉄棒の体操の指導をした。

派遣した指導者は全員教員免許を取得しており、本来であればボランティアで指導はありえない。

【白石副課長】

昨年度は体育授業の活動に対して、スポーツ活動サポート事業として一部補助をしたが、今年度は市の事業として補助していない。これは、同サポート事業は課外活動に適用するものであるため、県とも協議した結果である。しかし、小学校から指導者派遣の依頼が多いことが現状のため、その必要性について、今後の審議会でも議論していただきたい。

【佐藤委員】

ゴールデンエイジに対してどのような取り組みをしていくのかが、これからのスポーツ活動の基本となると思われる。

【倉石副委員長】

体育課だけでなく、教育委員会としてどうするのか。各課で対応するのではなく、教育委員会として目的を位置付けて全課で取り組まなければ成果は出ない。

【田中課長】

連携は必要だと思われるため、今後、教育委員会で審議・議論していきたい。

【倉石副委員長】

部活動について、市体育協会としても関わりがあるが、学校によっては外部指導者の派遣をしてほしくない学校もある。

サポート事業でどんな活動をしているのか。子供たちへのスポーツ活動をどうするのかを、体育課だけでなく教育委員会全体として決めていただきたい。

【上野委員】

サポート事業を活用しているありがたい。今後もニーズは増えると思われる。

部活動の指導は教員の時間外勤務の増加につながっており、外部指導者に任せたいと考えることもある。また、体育授業の体操で怪我をする子が多いため、専門的な指導者に指導してもらいたい。

学校教育面でも子供の興味や関心を高める面でも、外部指導者の派遣はプラスになっている。

【石黒指導主事】

体育授業は教育課程内であり、部活動は教育課程外である。市教育委員会の施策として、体育授業は学校教育課、部活動については体育課で支援している。

先ほど、佐藤委員がおっしゃっていたのは、体育授業での外部指導者の派遣ということであるが、現在、授業中に外部指導者を派遣することができる事業は、県保健体育課が行っている事業のみである。また、改正した文科省の規則というのは、教員が引率していなくても外部指導者が部活動の指導ができるというものであり、市ではまだ導入していない。

【佐藤委員】

他県では市独自の制度として授業中で行っている。指導計画等の工夫まで考えるべきである。

【土田委員長】

学力の向上にも関わると思う。今後の審議も必要と思われる。

(2)「上越市第2次総合教育プラン」前期実施計画について、山崎係長が資料4に基づき説明。

【上村委員】

今年、陸上競技場が改修されたが、フィールドの改修はしたのか。小学生の陸上大会の際、フィールドで高跳びを行うが、小学生はスパイクが禁止されており、今までのフィールドのままだと、濡れていると滑るため結果に支障が出る。

【石田係長】

芝生部分は何もしていないが、トラック及びフィールドは全てウレタン舗装し、新しくした。

【上村委員】

冬を越すと黒い苔が発生するため、高い機能を保ったまま維持してほしい。

【石田係長】

水はけも良くなるよう工事を行った。綺麗な状態を維持していきたい。

(3) 平成 29 年度体育関係施策及び予算について、山崎係長が資料 5 に基づき説明。

【佐藤委員】

幼少期からの運動習慣の形成は 3 回の講習できるものではない。現実には厳しいが、実現するためには教育委員会として方向性や取組を進めていかなければならない。

(4) 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について、加藤係長が資料 6 に基づき説明。

【倉石副委員長】

市体育協会では 7 月 28 日から 8 月 1 日まで、ドイツのスポーツ少年団を受け入れる交流事業を行う。この事業には市から補助金を出してもらっているため、この取組もドイツ関連事業として取り組んでほしい。

【白石副課長】

予算はホストタウン推進事業とは別だが、ホストタウン推進事業の一つとしている。

(5) スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の取組について、佐久間生涯スポーツ指導員が資料 7 に基づき説明。

意見、質問なし

(6) 上越市総合型地域スポーツクラブネットワーク（通称：上越 SC ネット）の発足について、佐久間生涯スポーツ指導員が資料 8 に基づき説明。

【倉石副委員長】

上越 SC ネットに加盟していない7クラブはどのような状態なのか。何か問題があって加盟していないのか。

【佐久間生涯スポーツ指導員】

今回は連携できるクラブが集まり立ち上げた。これから他クラブにも声をかけていく。

経営に苦慮している総合型地域スポーツクラブにとって、他クラブとのネットワークは必要になると考える。

【滝本委員】

今回加盟した4クラブは県連絡協議会に加盟しているクラブである。まずはその4クラブから始めて、今後、他クラブの加盟を募っていく。

【倉石副委員長】

他の7クラブについては自主的な活動が無いように思える。市も新しい総合型地域スポーツクラブの設立を頑張っているが、成功しているクラブとそうではないクラブの違いを把握すべき。資金力があるクラブは、自主活動も活発だとは思いますが、活動する場所及び人がいるからだと思われる。

そのことも4クラブと協議し、7クラブの加盟、また、新規クラブの設立を進めてほしい。

【白石副課長】

活動場所の有無は、事務局員の確保など運営に大きく関わる。今後、上越 SC ネットとも情報共有していきたい。

(7) (仮称) 上越市体操アリーナの整備について、石田係長が資料9に基づき説明。

【滝本委員】

目的では「市民の健康増進」「生涯スポーツ」とあるが、コンセプトには「専用施設」とある。矛盾しているのではないか。また、一部の人や団体のためだけの施設になるのではないかと心配している。

長野五輪のボブスレー・リュージュ施設のような負の遺産・重荷にはならないよう、今後どのように活用していくのか考えてほしい。

【田中課長】

体操専用施設ではあるが、アリーナを使用した多種多様なカリキュラムや利用料金を検討していく。

【土田委員長】

ランニングコースは一般開放するのか。生涯スポーツとして愛好されるのはウォーキングやランニングであるため、一般開放されると良いと思われる。

駐車場の台数は図面に記載してある台数が上限なのか。

【田中課長】

アリーナで大会を開催した際に足りる想定であるが、不足する場合は、近隣の駐車スペースを借りる場合もあるかもしれない。

1 2 閉会のあいさつ

【倉石副委員長】

長時間の審議ありがとうございました。オリンピック・パラリンピックが3年後に迫ってきた。市民のスポーツに関する関心も高まっていると思われる。市は国の施策を活用してスポーツ振興を進めてほしい。

皆さんから色々な意見を出していただき、上越市がいきいきスポーツ都市として、また、ホストタウンとして全国に誇れるよう活動していきたい。

今後とも、よろしく申し上げます。

1 3 問合せ先

教育委員会体育課スポーツ振興係

TEL : 025-545-9246 (内線 616-1330)

E-mail : taiikuka@city.joetsu.lg.jp

1 4 その他

別添えの資料も併せてご覧ください。